

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓1,241	1,543	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 9	21	ヘルパンギーナ	↑ 10	7
咽頭結膜熱	↓ 19	35	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 3	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 89	110	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 708	745	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 22	21
水痘	↓ 40	57	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 53	58	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 3	2	マイコプラズマ肺炎	→ 0	0
突発性発しん	↑ 34	25	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロウウイルス)	↑ 7	5

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

咽頭結膜熱 : 菊池
 感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、有明
 手足口病 : 八代
 インフルエンザ : 熊本市、山鹿、菊池、八代、人吉、有明、宇城、天草

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロウウイルス)
熊本市保健所	294		1	29	183	11	15	1	11			2		22		1			7
山鹿保健所	92				70	1		1	1				*	*					
菊池保健所	186	1	7	23	140	4	10		7				*	*					
阿蘇保健所	68			1	5								*	*					
御船保健所	32				16								*	*					
八代保健所	100			5	47	1	21		7										
水俣保健所	25	1		1	12				1			1	*	*					
人吉保健所	124	5	3	3	21	3	1						*	*					
有明保健所	103	1	2	12	112	7	5	1	2										
宇城保健所	120		4	15	61	8	1		1		3		*	*					
天草保健所	97	1	2		41	5			4		7								
計	1,241	9	19	89	708	40	53	3	34		10	3		22		1			7

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	1241	5	24	50	72	58	69	54	95	86	79	62	197	48	52	88	66	52	41	30	13	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	9	1	3	4	1																	
咽頭結膜熱	19		1	7	2	2	2	1	1	2		1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89				2	11	12	16	13	12	7	6	8	1	1							
感染性胃腸炎	708	7	34	98	71	78	51	74	63	50	29	21	75	7	50							
水痘	40		3	7	4	7	9	6	1	2				1								
手足口病	53			14	26	8	2	2				1										
伝染性紅斑	3		1	1		1																
突発性発しん	34		15	18	1																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	10			4	2		2	1			1											
流行性耳下腺炎	3					1		1					1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	22			1	1										5	4	1	3	1	6		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1						1															
マイコプラズマ肺炎	0																					
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロウウイルス)	7		7																			

インフルエンザ、感染性胃腸炎に注意しましょう



インフルエンザ
 今週のインフルエンザの報告数は1,241件と、県全体として第9週以降減少が続いていますが、まだ県内の多くの地域(熊本市、山鹿、菊池、八代、人吉、有明、宇城、天草)において、引き続き警報レベルは継続中です。例年、5月頃まではインフルエンザの報告がありますので、引き続き外出後の手洗いや咳エチケットなどの感染予防対策を行ってください。また、インフルエンザにかかってしまった場合は、具合が悪ければ早めに医療機関を受診してください。無理をして学校や職場に行かないようにし、休養をしっかりとしましょう。

感染性胃腸炎
 県内の感染性胃腸炎の報告数は第4週以降減少傾向でしたが、第7週の報告数418件から再び増加しており、今週の報告数は708件でした。地域別に見ると、山鹿、菊池、有明が警報レベルを継続中です。原因にはさまざまな細菌やウイルスがあり、全国的にはノロウイルスの検出が多くなっています。また、今季節は例年ロタウイルスによるものが流行してきます。感染性胃腸炎は何度もかかることがありますので、一度かかっても油断せず以下の感染予防対策をしっかりと行いましょう。

- ～感染予防のポイント～
- ①トイレにいった後、調理や食事の前には必ず流水と石けんを使って手を洗いましょう。
 - ②加熱が必要な食品は、中心部まで十分に加熱を行いましょう。
 - ③感染者の便や吐物を扱う場合には、周囲に感染を拡げないように使い捨て手袋、マスク、防護服を着用し、衛生的に処理するようにしましょう。また、処理後は必ず十分に手を洗いましょう。
 - ④下痢や嘔吐などの症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。

